

平成25年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	研究環境・基盤強化経費		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～平成25年度		担当課室	産業連携・地域支援課		産業連携・地域支援課長 木村 直人		
会計区分	一般会計		政策・施策名	IX-2 科学技術振興のための基盤の強化				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	筑波研究学園都市に集積された研究機関や大学等への情報交換の機会の提供や研究交流センターの共同利用施設である国際会議場等の運営、筑波研究学園都市における研究者の研究環境の状況調査、共同研究などに従事するために招へいされた外国人研究者が利用する宿泊施設を確保するなど、研究環境を整備することで研究交流の促進を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	筑波研究学園都市における研究交流の促進を図るため、以下の業務を行う。 ・研究交流センターの共同利用施設である国際会議場等の運営、研究交流集会等の業務 ・設備の改修、点検、警備、清掃及び会議場等の整備 等 外国人研究者宿泊施設の整備、運用に係る以下の業務を行う。 ・宿泊施設の経年劣化部分の改修業務 ・宿泊施設の清掃、施設内外の巡回等の管理業務 等							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	63	61	59	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	63	61	59	-	
	執行額	-	46	49				
	執行率 (%)	-	73.3%	80.6%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	筑波研究学園都市における研究交流の促進 【参考実績①:研究交流センターの共用施設の利用実績】 【参考実績②:本宿舎への新規外国人入居世帯数】			① 利用実績	利用者 17,513 利用回数 859	利用者 17,577 利用回数 897	利用者 14,352 利用回数 697	-
			② 世帯数	4	2	5	-	
			達成度	%				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	①研究交流シンポジウム等の開催実績 (各研究機関等に係る横断的な研究交流シンポジウムの開催や研究会等の支援を行う。) ②1年間の入居世帯数(1ヶ月毎にカウント) (外国人研究者宿泊施設の施設・生活環境の整備を行う。)			① 開催実績	21	30	22	-
			② 世帯数	132	101	88	-	
					()	()	()	
単位当たりコスト	67,271(円/回)		算出根拠	外国人宿舎の予算を除く当初予算額(55,028千円)/国際会議場等の利用予定回数(818回)(※過去3年間における実績の平均)				
平成25・26年度予算内訳	費目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	庁費		55.6百万円	-	平成25年度限りの経費			
	情報処理業務庁費		3.2百万円					
	職員旅費等		0.4百万円					
計		59.2百万円	-					

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	つくば地域は国際競争力のある産業を育成する「国際戦略総合特区」に指定され、これまで以上に外国人研究者への支援強化が求められている。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	年間契約等の請負業務の支出先の選定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で一般競争入札を実施しており、その妥当性や競争性を確保するとともに単位あたりコストの削減に努めている。また、その他の修繕等の支出についても真に必要な内容に限定し、見積もり合わせを行い経費削減に努めている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○		
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	研究交流センターは筑波研究学園都市内の研究教育機関等の相互研究交流、交通問題等の検討を通し、緊密な連携促進に極めて有効な研究集会等を実施している。また、科学技術に関する情報の円滑・迅速な提供を目的とし、国際会議場、研究交流室、会議室等を備え研究教育機関等が有効に活用している。これにより筑波研究学園都市内の研究交流を促進するなど、当該地域の発展に寄与している。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	本業務にかかる経費は、文部科学省において直接執行しており、会計規則に基づき適切な処理に努めている。				
外部有識者の所見					
外部有識者による点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
初期の目標を達成したことから、平成25年度をもって廃止することとしている。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
	平成22年		平成23年		平成24年
					0257

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
49百万円

庁費
その他

47百万円
2百万円

}を含む。

〔共同利用施設及び外国人研究者宿泊施設の管理・運営等業務や施設の修繕を行っている。〕



【一般競争入札・請負】

A. 管理運営業務等 10百万円
(民間企業 4機関)

〔国との委託契約に基づき、施設の清掃・管理業務、植栽管理業務及び機械警備保安業務等の運営業務等を行っている〕

※100万円未満の契約については、記載を省略している。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	施設電気機械設備等保安全管理業務	3			
役務費	施設警備保安業務	2			
計		5	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京美化株式会社	施設の清掃及び管理業務	4.0	5	
2	常陽メンテナンス株式会社	施設の電気及び機械設備等の保安全管理業務	2.8	5	
3	常陽メンテナンス株式会社	施設の警備保安業務	2.2	9	
4	株式会社ともゑ	施設の植栽管理業務	1.3	2	